



地域でのネットワークの形成

- ネットワークとは

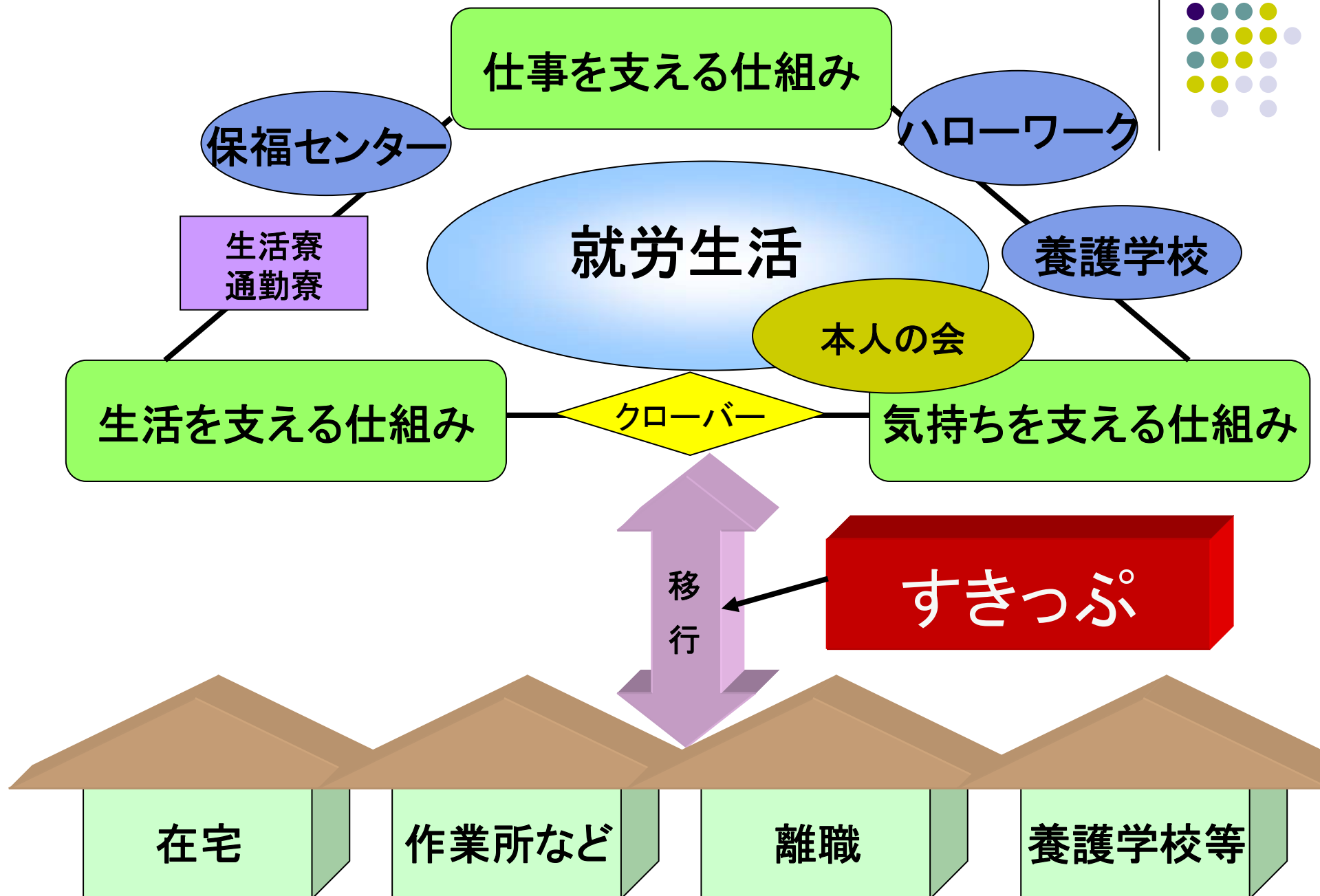
ネットワークとは基本的には各々が持っている資源(機能・役割)の相互利用のための方法であり、自己のもつ限られた範囲での支援能力や効果を、他を利用してさらに高めていくこと、同時に単なる利用関係ではなく、「共に」という連携(連帯)意識によって成り立つもの。



入所者の離職理由

- 会社都合 30%
- 不適応(精神面) 26%
- 人間関係 26%
- 業務不適応 9%
- 本人都合 6%
- 業務劣悪 3%

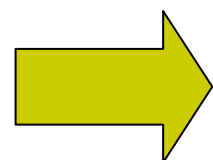
就労生活を支えるネットワーク





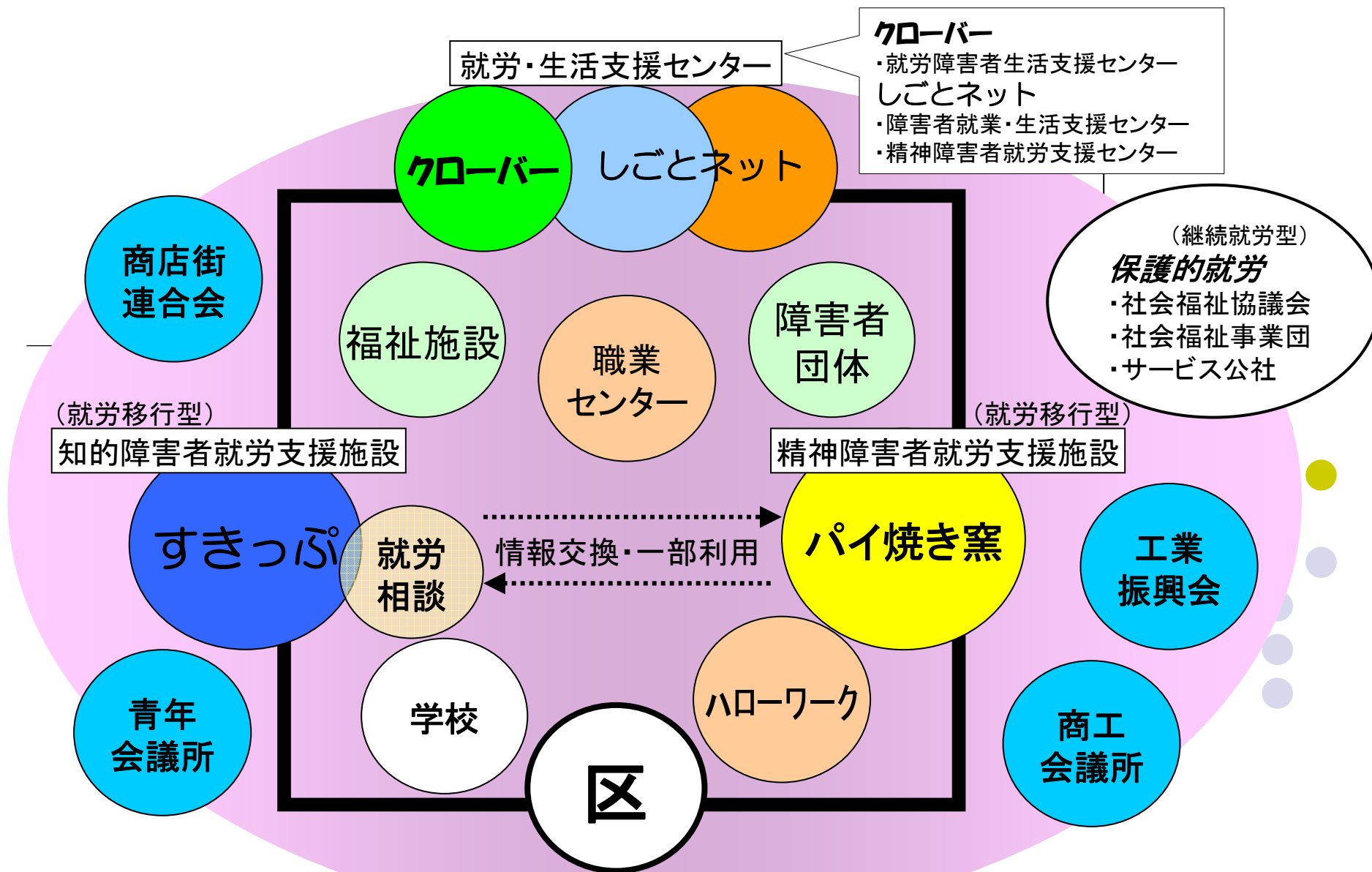
ネットワークの二つの方向

- 雇用促進
- 離職防止(職場定着支援)



地域支援ネットワーク

雇用・就労に関わる地域支援ネットワーク (世田谷モデル)



世田谷区障害者雇用促進協議会

世田谷区障害者雇用促進協議会



- 設置の趣旨

地域の商工団体、養護学校、ハローワーク、就労支援施設等障害者の一般就労に係わるすべての関係機関、団体等の連携により、地域における障害者雇用（一般就労）の促進をはかる。

- 事業

- (1) 障害者雇用の理解・啓発に関すること。
- (2) 障害者雇用の支援に関すること。
- (3) 障害者雇用の調査並びに研究に関すること。
- (4) その他雇用促進に関すること。



世田谷区就労支援機関連絡会

- 目的

各支援機関が、今後の障害者就労の課題に向けて連携強化し、障害者就労の促進を図ると共に、就労障害者のより安定し充実した地域生活支援のためのネットワークを構築する。

- 内容

- ・ケース事例によるネットワークの検討
- ・世田谷区就労支援の今後の課題
- ・他区との連携検討など

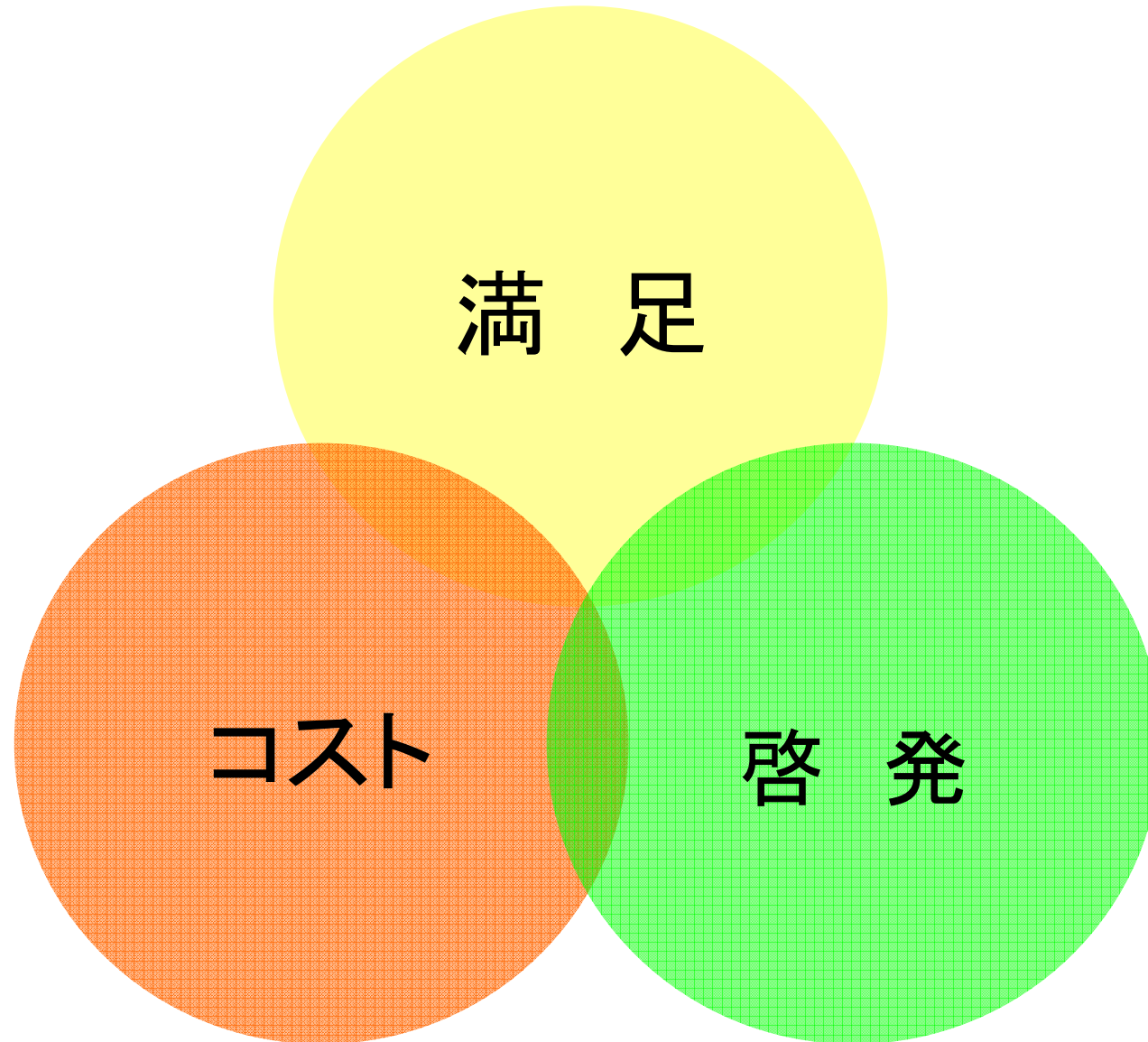
もっと働ける社会に



チャンス到来！

- 知的障害者の雇用の義務化
- 産業構造、職種、雇用形態の変化
- 企業の社会的責任（CSR）と法令遵守
- 就労支援事業の拡大
- 20世紀モデルから21世紀モデルへ、「共に」

「就労(雇用)」を通しての3つの実現





新しい就労支援システムの挑戦

こうすれば
働ける!

授産施設から企業へ

世田谷区立
知的障害者就労支援センター
すきっぷ 編

エンバウメント研究所

ありがとう
ございました。